

糖尿病と消化器疾患セミナー

～糖尿病と消化器疾患の最新動向と対策～



日時：2018年 **11**月 **30**日(**金**) **18:50**～

場所：山形国際ホテル 5階 蔵王

製品紹介：経口そう痒症改善剤 レミッチOD錠2.5 μ g 大日本住友製薬(株)

【基調講演】19:00～19:40

座長：山形市立病院済生館 地域糖尿病センター

糖尿病・内分泌内科 鈴木 亨 先生

「脂肪肝における低酸素応答は胆石形成を促進する」

演者：東北大学病院 糖尿病代謝科

助教 浅井 洋一郎 先生

【特別講演】19:40～20:40

座長：山形大学医学部 内科学第二講座

教授 上野 義之 先生

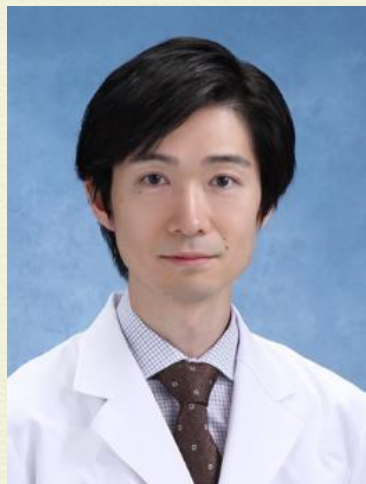
「膵臓がんのリスクと早期診断への取り組み
～ 糖尿病を中心に ～」

演者：東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野

教授 正宗 淳 先生

演題:「脂肪肝における低酸素応答は胆石形成を促進する」

R



【演者】

東北大学病院
糖尿病代謝科

助教 浅井 洋一郎 先生

〈抄録〉

非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)は疫学的に胆石症のリスクとされるが、その機序は十分明らかでなかった。NAFLDにおいては脂肪の蓄積により肝細胞が肥大化し、類洞の狭小化に伴って微小血流が低下する結果、肝臓内が低酸素状態となる事が知られている。我々は、生体の低酸素応答において中心的な役割を果たす転写因子である低酸素誘導因子Hypoxia-inducible factor 1α (HIF- 1α)が、脂肪肝における胆石形成に重要な因子である事を、遺伝子改変マウスを用いた実験により明らかとした。また、その機序にHIF- 1α が水チャネルであるアクアポリン8を抑制する事が関わっている事がわかった。更に、胆石症を合併したNAFLD患者では胆石を有しないNAFLD患者と比べて肝臓のHIF- 1α の発現が有意に亢進している事がわかり、ヒトにおいても脂肪肝に伴う胆石症にHIF- 1α の活性化が寄与している可能性が示唆された。

今後、肝臓の低酸素へ介入する事が、脂肪肝に伴う胆石症への治療手段に繋がる可能性が考えられた。

【特別講演】19:40～20:40

**演題:「膵臓がんのリスクと早期診断への取り組み
～糖尿病を中心に～」**

R



【演者】

**東北大学大学院医学系研究科
消化器病態学分野**

教授 正宗 淳 先生

＜抄録＞

膵臓がんは最も難治の固形がんであり、5年生存率は1割に満たない¹⁾。他のがんと同様に、その予後改善には早期診断、早期治療が重要である。膵臓がんのリスクとして家族歴や併存疾患、生活習慣など様々な因子が知られている。このうち糖尿病は膵臓がんの罹患リスクを約2倍に上昇させることが、メタ解析により明らかとなっている²⁾。糖尿病が膵臓がんのリスクとなるのみならず、新規発症や糖尿病の増悪が膵臓がん診断の契機になることも少なくない。

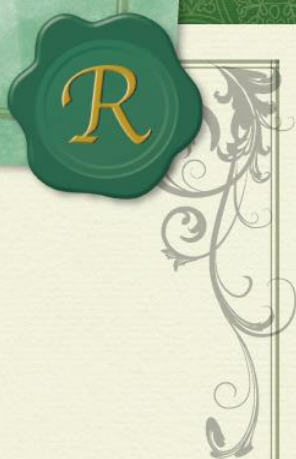
本講演では膵臓がんと糖尿病の危険な関係を中心に、膵臓がん早期診断への取り組みとあわせてお話しする。

1) Egawa S et al. Pancreas. 2012;41:985-92.

2) Batabyal et al. Ann Surg oncol 2014;21(7):2453-62

糖尿病と消化器疾患セミナー

～糖尿病と消化器疾患の最新動向と対策～



R

申込書

□ご参加

大変恐縮ではございますが、会運営の都合上、

11月23日(金)までにFAX 頂きます様、

何卒宜しくお願い申し上げます。

詳細につきましては、大日本住友製薬 MRにご確認ください。

FAX番号 **023-627-1061**

【大日本住友製薬 山形営業所 宛】

貴施設名： _____

ご所属： _____

ご氏名： _____



会場：山形国際ホテル 5階 蔵王
住所：山形県山形市香澄町3丁目4-5